

前期基礎研修 基本日程

時間	日 程	内 容
8:45	朝 食	椅子席
	朝礼・連絡事項	椅子席
9:15	午前講義	椅子席
12:30	昼食・休憩	椅子席
13:30	午後講義	椅子席
16:45	夕事勤行・法話	椅子席
17:00	清 掃	清掃終了後自由
18:00	夕食・休憩	椅子席
19:00	自習・語り合い等	
21:00	入浴・就寝	

<健康調査票と合わせて医療機関へご持参ください>

1. 研修人数は、若干名で、全寮制です。部屋は個室です。
2. 期間中の土曜・日曜・祝日は、休講となります。
3. 休講日の前日及び指定した日は、外泊可能ですが、それ以外の外泊は基本的に認められません。
4. 初日は11:00より開始、最終日は12:30終了予定。
5. 期間中2日目と最終日は、本願寺にて行われますお晨朝(6:00~7:00)に参拝いたします。
6. 期間中、バス移動(片道約1時間)があります。

以 上

前期基礎研修

	午前 (9:15~10:45/11:00~12:30)		午後 (13:30~15:00/15:15~16:45)		会場
	講義	講師	講義	講師	
10月2日 (月)	(11:00開始) 開講式・オリエンテーション		志を語り合う	鍋島直樹 (龍谷大学教授) 花岡尚樹 (あそかビハラー病院院長補佐)	伝
			ビハラー概論	鍋島直樹	
10月3日 (火)	高齢者に関する基本的な対応	野村康治 (社会福祉法人至心会理事長)	高齢者に関する基本的な対応	野村康治	伝
10月4日 (水)	仏教学	藤丸 要 (龍谷大学教授)	地域包括ケアシステム	沼口 諭 (沼口医院院長)	伝
10月5日 (木)	宗教間対話	浅野 献一 (日本キリスト教団 室町教会牧師) 打本弘祐 (龍谷大学講師)	傾聴活動について	竹本了悟 (自死自殺センターsotto代表)	伝
10月6日 (金)	死生学	小西達也 (日本臨床宗教師会理事)	臨床宗教師の倫理綱領	小西達也	伝
	死生観を語り合う	小西達也・花岡尚樹 山本成樹 (あそかビハラー病院ビハラー室長)			
10月10日 (火)	医療倫理・生命倫理	早島 理 (滋賀医科大学名誉教授 ・龍谷大学特任教授)	在宅ホスピス	田中至道 (沼口病院臨床宗教師)	伝
			ホスピス緩和ケアI	花岡尚樹	
10月11日 (水)	人の心に聴くとは	沼野尚美 (宝塚市立病院緩和ケア病棟 チャプレン・カウンセラー)	日本人の民間信仰	鈴木岩弓 (東北大学総長特命教授)	伝
10月12日 (木)	スピリチュアルケアと宗教的ケア	打本弘祐	緩和ケアチームにおける 僧侶の役割	徳永道隆 (安芸教区佐伯東組延明寺)	伝
10月13日 (金)	ホスピス緩和ケアII	花岡尚樹	生活支援技術	ビハラー本願寺職員	総
10月16日 (月)	公共空間における僧侶の役割	大河内大博 (医療法人社団日翔会チャプレン)	悲歎のケア	鍋島直樹 (龍谷大学教授)	伝
10月17日 (火)	病院・高齢者施設における 臨床心理士の役割	打本未来 (愛染橋病院 チャプレン)	真宗教義	葛野洋明 (龍谷大学特任教授)	伝
10月18日 (水)	医療現場における ビハラー僧の役割I	森田敬史 (長岡西病院ビハラー僧)	宗教儀礼や習俗に関する事項	小野真龍 (京都大学非常勤講師)	伝
			病院における僧侶・医師の役割	田畑正久 (佐藤第二病院院長)	
10月19日 (木)	医療現場 における ビハラー僧の役割II	花岡尚樹	個別面談等		伝
10月20日 (金)	研修の振り返り・まとめ・閉講式(12:30終了)				伝

会場欄の「伝」は伝道院、「総」はビハラー総合施設。尚、講義中「宗教間対話」は京都市内の教会が会場予定。

後期臨床実習

1. 目的

医療機関・福祉施設など公共空間においてビハラー僧として実践できる能力を習得する。

2. 目標

- (1) 患者・家族の抱える苦悩を知り、悲しみをともに悲しみ、喜びをともに喜び、全人的苦痛を和らげ、その人らしく最後まで生きられるように援助する。
- (2) 医療・介護の認識を深め、スタッフと連携し、チームの一員として活動する力量を高める。
- (3) み教えをわが身にいただき、自信教人信の心を大切にし、自身の宗教性を深める。
- (4) 宗教・宗派の違いを大切にし、自身の宗教を押し付けず、相手の宗教性を大切にした寛容性を身につける。

3. 実習方法と概要

施設担当者等の指導のもとに、支援対象者への理解を深め、援助のあり方を理解し支援方法について学ぶ。また自らの実践内容について評価考察する。

○実習場所：あそかビハラー病院 ビハラー本願寺
 三菱京都病院 常清の里 その他

4. 実習内容・プログラム

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| (1) オリエンテーション | (2) 初期研修 | (3) 高齢者のケア |
| (4) スタッフとの連携 | (5) 情報記録 | (6) スピリチュアルケア |
| (7) 宗教的ケア | (8) 医療的認識に関する事項 | |
| (9) 悲歎のケア | | |

※実習記録を提出し、振り返りを行う。また、適宜、会話記録を提出し会話記録検討会を行う。

以上

後期臨床実習 基本日程

時間	日 程	備 考
8:30	集 合	
8:40	お朝事（重誓偈）	
9:00	朝礼・申し送り	
9:30	ミーティング	
12:00	居室訪問	
13:30	昼食（患者さんと） 休憩	
14:30	カンファレンス（全職種）	
16:00	カンファレンス振り返り 居室訪問	
16:30	お夕事（讃仏偈・法話）	
17:00	カルテ記録	
17:30	振り返り	
	終 了	

<健康調査票と合わせて医療機関へご持参ください>

1. ビハラー総合施設における基本日程となります。尚、ビハラー総合施設以外の研修時間については、集合・終了時間を含めこの限りではありません。
2. 毎日実習記録を提出し、振り返りを行います。
3. 期間中の土曜・日曜・祝日は、原則休講となります。
4. 期間中 10 日程度、京都市及び大阪府での研修があり、バスまたは電車で片道 1 時間の移動があります。

以上